気仙沼市小中学校の再編整備に関する中間報告【概要版】

〈はじめに〉

気仙沼市小中学校再編検討委員会では，教育長からの諮問に基づき再編の基本的な考え方等について，令和６年６月開催の第１回から令和７年４月開催の第８回まで検討してまいりました。

今回，本市の少子化の現状等を踏まえながら，具体的な学校配置案や再編を契機とする学校の魅力化の項目など諮問事項に対する答申の中間報告がまとめられましたので，提示いたします。

内容を御覧いただき，ご意見をお寄せください。

【諮問事項】	１　小学校及び中学校の再編の基本的な考え方
≪抜粋≫	２　よりよい教育環境整備のための具体的な学校配置案
	３　再編整備の具体的な方策
	４　今次再編後の考え方
	５　その他再編整備に向け必要となる事項

■これまでの主な審議の流れ

〔第１回〕準備会からの申し送り事項確認，現状と課題の把握，スケジュール確認，
　　小中学生の意見聴取開始。
〔第２回〕小学校は最小限，中学校は数校への再編とするパターンＢを選定，意見聴取会実施。
〔第３回〕再編の基本的な考え方をまとめ，学校の魅力化の重要性確認。
〔第４回〕意見共有，教育改善内容説明，事務局案検討。
〔第５回〕グループセッション開始，市民の意見を踏まえた議論。
〔第６回〕視察結果報告，グループセッション結果共有，中間報告案検討。
〔第７回〕中間報告案の反映確認，懸念事項の追記，メール審議。
〔第８回〕中間報告の最終確認

各諮問事項について

１　小学校及び中学校の再編の基本的な考え方

再編検討委員会では，各委員から出された意見を踏まえて，協議を行い，小学校は最小限の再編，中学校は数校に再編する，パターンＢを中心に検討を進めた。

○　パターンＡ　小学校，中学校ともに，数校に再編
○　パターンＢ　小学校，中学校で再編の考え方を分ける
　　小学校は地域とのかかわりを重視して最小限の再編
　　中学校は発達段階や教育内容の高度化を受け，数校に再編
○　パターンＣ　小学校，中学校ともに現状を維持

【基本的考え方１】

小学校については，小学生の発達段階や地域が学習フィールドとして機能してきたことを重視し，現在の学校を維持する。ただし，引き続き望ましい在り方を探っていく。

【基本的考え方２】

中学校については，社会性の涵養や主体的な学びの段階的な拡大の観点から早期の再編が必要であると判断し，４校への再編を提案する。

【基本的考え方３】

気仙沼市教育大綱の基本方針の一つである「まち全体で子供を育む環境づくり」を発展させ，「まちは一つのキャンパス」として，今回の再編により，全市全地域の教育力向上を目指す。

【基本的考え方４】

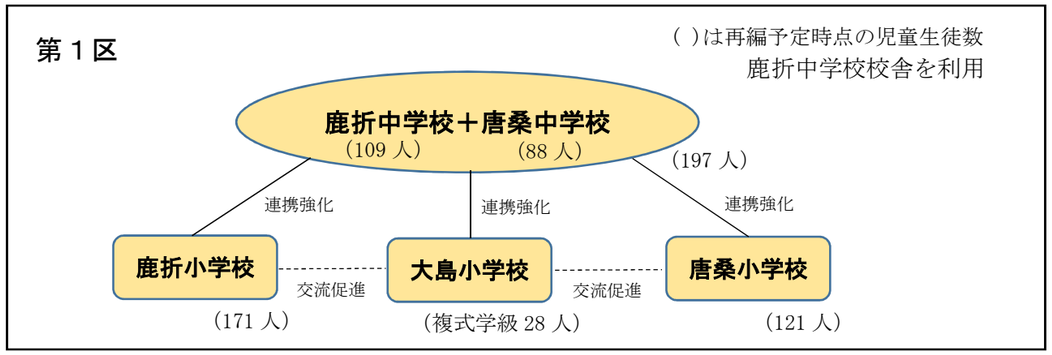
再編と各学校の魅力化向上は一体的であり，魅力化について，コミュニティ・スクールの設置義務となっている学校運営協議会を通して，子供，保護者，多様な市民との協働により実現していく。学校運営協議会の仕組を活かした市民参画を目指す。

2 よりよい教育環境整備のための具体的な学校配置案

【学校配置にあたり勘案した観点】

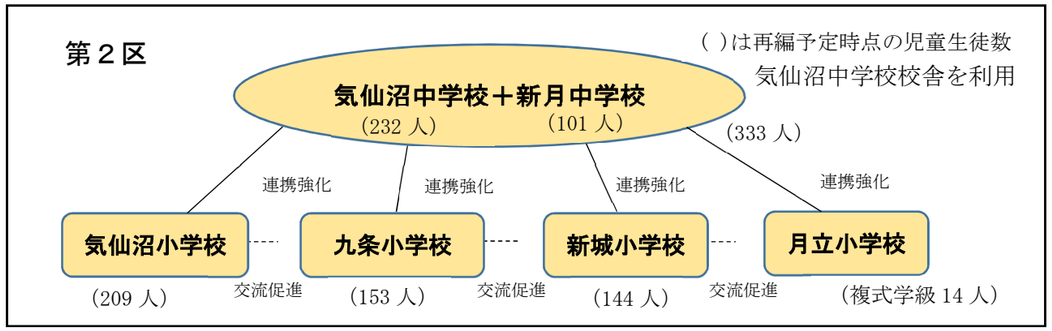
① 学校間距離の比較　② 各校における最遠住居地までの距離の比較　③ 再編予定時点で必要となる教室数と既存校舎の活用　④ 生徒の安全面を重視し，各種ハザードとの位置関係

第１区



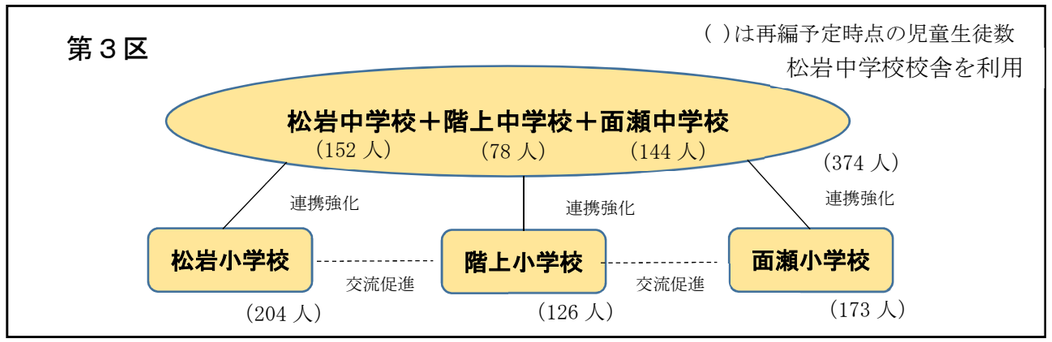
① 鹿折中：～鹿折小 1.1km，～大島小 9.1km，　～唐桑小 8.0km
　唐桑中：～鹿折小 9.6km，～大島小 16.9km，～唐桑小 1.6km
② 鹿折中：～竜舞(大島南) 12.0km，～白山(鹿折北) 9.8km，～御崎神社(唐桑南) 15.7km
　唐桑中：～竜舞(大島南) 21.7km，～白山(鹿折北) 19.5km　が特に通学距離が長くなる。
③ 一般学級７室，特別支援室２室（見込），ほか学習室等４室の計 13 室程度の教室が必要。鹿折中学校校舎（普通教室 13 室）はそれを満たし，唐桑中学校校舎（普通教室 11 室）では不足する。〔※教室数は改修整備等の上での見込数〕
④ 最大クラスの津波浸水想定，想定最大規模降雨による洪水浸水想定等から，両校とも浸水想定区域外に位置しており，特筆すべき差異はない。

第２区



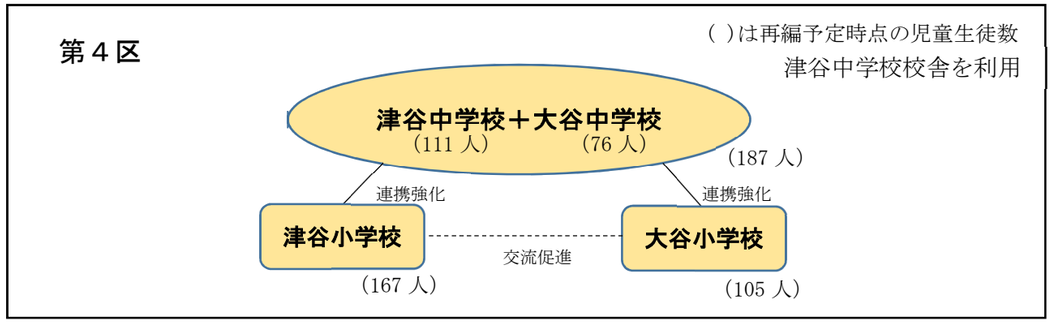
① 気仙沼中：～気仙沼小 0.2km，～九条小 2.1km，～新城小 3.5km，～月立小 9.0km
　新 月 中：～気仙沼小 3.0km，～九条小 3.2km，～新城小 1.2km，～月立小 6.9km
② 気仙沼中：～月立(新月北) 13.5km，～落合(新月南西) 13.2km
　新 月 中：～月立(新月北) 12.2km，～落合(新月南西) 11.0km
③ 一般学級 11 室，特別支援室３室（見込），ほか学習室等５室の計 19 室程度の教室が必要。気仙沼中学校校舎（普通教室 19 室）はそれを満たし，新月中学校校舎（普通教室９室）では大きく不足する。〔※教室数は改修整備等の上での見込数〕
④ 最大クラスの津波浸水想定，想定最大規模降雨による洪水浸水想定，土砂災害警戒区域等から，新月中学校では敷地の周囲が洪水浸水想定区域とされており，気仙沼中学校では周囲のまちが津波浸水想定区域とされているが，学校自体は浸水区域から離れており，また，体育館新築に伴う西校舎の解体により，土砂災害の危険はほぼなくなることから安全性については同校が高いと判断する。

第３区



① 松岩中：～松岩小 1.3km，～面瀬小 2.7km，～階上小 5.5km
　面瀬中：～松岩小 2.0km，～面瀬小 0.6km，～階上小 3.0km
　階上中：～松岩小 5.2km，～面瀬小 3.9km，～階上小 0.7km
② 松岩中：～羽田神社(松岩西) 8.8km，～岩井崎(階上南) 8.7km
　面瀬中：～羽田神社(松岩西) 9.0km，～岩井崎(階上南) 6.5km
　階上中：～羽田神社(松岩西)15.2km，　と階上中では他学区が遠距離となる。
③ 一般学級 13 室，特別支援室３室（見込），ほか学習室等５室の計 21 室程度の教室が必要。階上中学校（普通教室 10 室），面瀬中学校（普通教室 11 室）では大きく不足し，松岩中学校（普通教室 17 室）が最も教室を確保でき，仮設校舎を設置する際にも現行の運動場への影響が少なく，かつ，仮設校舎は特別教室の利用のみにとどめられる。〔※教室数は改修整備等の上での見込数〕
④ 最大クラスの津波浸水想定，想定最大規模降雨による洪水浸水想定等からは，３校ともいずれも浸水区域外に位置しており，特筆すべき差異はない。

第４区



① 津谷中：～津谷小 1.2km，～大谷小 7.5km
　大谷中：～津谷小 6.9km，～大谷小 0.1km
② 津谷中：～鹿の子(馬籠)　8.5km，～蔵内(小泉南)　8.5km，～菖蒲沢(大谷北) 12.0km
　大谷中：～鹿の子(馬籠) 16.4km，～蔵内(小泉南) 11.7km，～菖蒲沢(大谷北) 4.6km
　と大谷中では特に馬籠地区が遠距離となる。
③ 一般学級６室，特別支援室２室（見込），ほか学習室等４室の計 12 室程度の確保が必要。津谷中学校校舎（普通教室 13 室）はそれを満たすが，大谷中学校（普通教室 10 室）では大きく不足する。〔※教室数は改修整備等の上での見込数〕
④ 最大クラスの津波浸水想定，想定最大規模降雨による洪水浸水想定等から，津谷中学校は，いずれの浸水想定区域からも外れており，安全性がより高いと判断する。

３ 再編整備の具体的な方策

（１）再編の時期について

生徒数の急激な減少による今次の学校再編は，早急な実現が求められる。再編目標時期は，第１区及び第４区を令和９年度，第２区及び第３区を令和 10 年度を目途とする。なお，再編校同士の交流等の子供の準備状況に十分配慮すること。

（２）再編を契機とする学校の魅力化について

再編検討委員会が重要事項として捉え検討してきた学校の魅力化の項目を以下のとおり整理した。今後も更に継続して協議する。これらの具体的な在り方については，コミュニティ・スクールとしての学校運営協議会とともに検討されたい。

① 子供主体の授業づくりの加速
② 子供の自主性や自律性を生かした教育活動の推進
③ 小学校の教育改善
④ 中学校の新たな教育課程，部活動面の改善
⑤ 小中連携教育の推進
⑥ 不登校や特別支援教育への対応改善
⑦ 子供の立場から考える魅力的な教育の推進
⑧ 教員配置の充実
⑨ 校舎等の施設改善
⑩ 通学環境の確保
⑪ 学校と地域との協働
⑫ 学校跡施設の活用検討
⑬ 進捗状況の管理

４ 今次再編後の考え方

○今回の学校再編

令和５年度までの出生数から，令和 12 年度までの小学校，令和 18 年度までの中学校の状況分析に基づき，当面の課題解決と学校魅力化を図るものである。

○その後の再編の考え方

小学校：出生数を注視しつつ，学校再編を検討する必要がある。

中学校：１～２校へのさらなる再編を視野に入れなければならない。その際，学校の位置を含めた校舎の在り方を検討。

令和 17 年度には第４区ですべての学年が１クラス，その後は第１区でも学年によっては１クラスとなる。

５ その他再編整備に向け必要となる事項

検討の中で，４校の中学校の制服を統一によるワンキャンパスの機運醸成の意見が挙げられたほか，市として遠距離通学者へのスクールバス等の通学支援の実施やトイレ改修等の施設整備も示された。

また，新たな中学校４校のコミュニティ・スクールを整備する必要がある。「まちは一つのキャンパス」を形としても示すように，学校運営協議会とともに市民参画・協働による議論が望まれる。

この中間報告は，教育長からの諮問に対する答申の骨子となります。

今後，子供たち，保護者，地域住民皆様の意見を聞き，再編検討委員会にて検討してまいります。

中間報告の全編は**気仙沼市公式ホームページ** で公開しています

【お問合せ】
学校再編検討委員会 事務局
（学校教育課 学校再編推進室）
TEL 0226－22－3441